



人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

広報 **さつま** 2012

**9**



**さつま町夏まつり**

**さつまのパワー全開で頑張ります**



No.90

# さつま町 夏まつり

- 2 さつま町夏祭り
- 4 さつまるちゃんデビュー
- 5 「健康さつまポイント事業」  
応募されましたか  
特定健診を受診されましたか?
- 6 「健康さつま21」の改訂に向けて!
- 8 みんなで築こう  
「安心と活力ある長寿社会」
- 10 まちのニュース
- 16 さつまのポテンシャルを引き  
出せ
- 17 川内川激特・鶴田ダム再開発  
速報
- 18 ためになる「お口のお話し」
- 19 こんにちは保健師です  
健康な生活習慣紹介
- 20 暮らしの情報
- 23 まちの歴史探訪
- 24 がんばれスポーツ少年団
- 25 誕生・おくやみ  
1歳で~す
- 26 人・夢  
休日在宅医・薬局



8月5日、さつま町夏まつりが行われました。歩行者天国となった国道328号（宮之城屋地・虎居）では、山車巡行やパレードが行われ、元気いっぱいの子ども神輿、威勢の良い大人神輿などが練り歩き、祭りを盛り上げました。

手踊りでは、135台の五ツ太鼓のリズムに合わせ、1100人の踊り連がそれぞれ揃いの衣装で登場し、祭りに花を添えました。

また、特設ステージでは、子どもたちに大人気の薩摩剣士隼人ショーも行われ、会場は超満員となりました。

今年は初めて青森県鶴田町のはやし方の応援なしで「ねぶた運行」に挑戦し、無事運行させることができました。

最後は帝釈公園から花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



▲威勢の良い大人神輿



▲元気いっぱいの子ども神輿



▲健やかに育ちますように



▲五ツ太鼓のリズムに合わせた手踊り



◀大迫力の「ねぶた」



▲太鼓・笛などのはやし方



▲鶴田幼稚園の園児らによる「きんぎょねぶた」



▲ねぶたを盛り上げる跳人（踊り手）



◀川内高校ダンス部の路上ライブ



▶薩摩中央高校書道部によるパフォーマンス



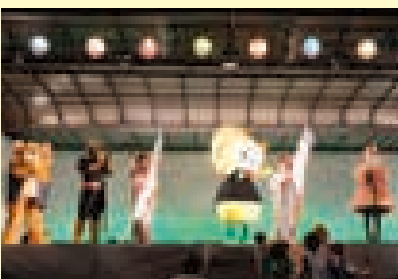
◀夜空を彩る花火



▶黒ちよか太郎（右）よりだれやめ（晩酌）を勧められる薩摩剣士隼人（左）

## ■表紙の写真説明

### さつま町夏まつり



8月5日、さつま町夏まつりで、町のイメージキャラクター「さつまるちゃん」がデビューしました。当日は、鹿児島のご当地ヒーロー「薩摩剣士隼人」と「つつん」もお祝いに駆けつけてくれました。



8月1日、さつま町イメージキャラクターの「さつままるちゃん」が町の営業課長&宣伝隊長に任命され、日高町長から辞令を交付されました。

8月5日のさつま町夏まつりでは町民の皆様へのお披露目があり、薩摩剣士隼人との共演も果たしました。今後のさつままるちゃんの活躍にご期待ください！



▲ 8月1日 辞令を交付されました



▲ 8月5日 さつま町夏まつりで町民の皆様へお披露目



▲ 8月12日 神子区夏祭りに出演子どもに大人気でした

# さつままるちゃん デビュー



これからさつま町を全国にPRしていきます。さつままるパワー全開で頑張ります!!

## <キャラクター紹介>

からだ全体はお尻ピカピカのホタルです。「タケノコ」の帽子に「あおし柿」の飾りもの、前髪は川内川の流れを表し、品良くまとめ、竹の笹と「薩摩西郷梅」をあしらった首飾りをつけています。さつま町の特長をてんこ盛りした町の元氣な妖精です。

名前(愛称)は、見た目がまるく、おだやかでやさしく、さつま町が丸くおさまるようにと名付けられました。

## さつままるちゃんプロフィール

正体：さつま町の特長をてんこ盛りした愛らしい妖精  
 誕生日：2011年11月29日(いいにくの日)  
 命名日：2012年3月29日  
 性別：男の子?  
 性格：おだやかで優しいが好奇心旺盛!!  
 なんでもチャレンジしちゃうタイプ  
 特徴・特技：お尻がピカピカ光る。空を自由に飛ぶことができるが人前では飛ばない。  
 さつま町のいろんなものを魔法でだせる。  
 好きな食べ物：さつま町の特産物全品  
 (たけのこ、薩摩西郷梅、あおし柿などは特に大好き)

【お問い合わせ先】  
 総務課 政策推進係 電話：53-1111(内線2216)

## 健康増進課からのお知らせ①

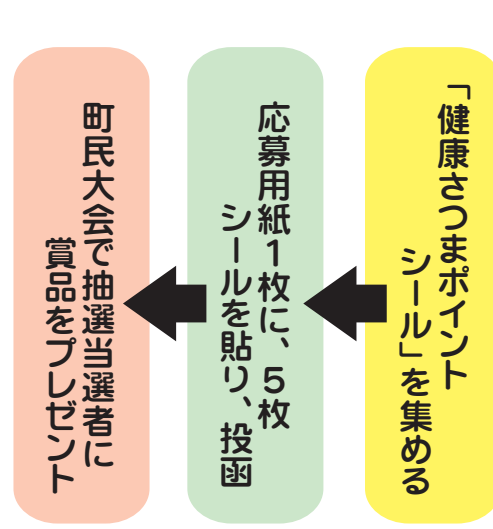
「健康さつまポイント事業」  
 応募されましたか。

平成24年5月から始まった、「健康さつまポイント事業」の8月27日現在の状況です。

ただいまの  
 応募総数  
 1138枚です。



「健康さつまポイント事業」とは  
 ポイント事業とは  
 高齢者ふれあいいきいきサロンや健康づくりの自主団体が主催する事業に参加したり、個人で健康づくりを行っていた場合に、役場に申請し、ポイントシールを5枚集めると応募できます。



## 賞品

等	賞品	本数
1等	国内旅行券又は商品券(十万円)	1本
2等	健康グッズ又は商品券(五万円)	3本
3等	健康グッズ又は商品券(一万円)	5本
4等	健康グッズ又は商品券(五千円)	10本
5等	入浴券(三千円分)	50本

登録団体数とシール発行数

101団体に22937枚  
 (平成24年8月27日現在)

健康づくりの自主団体は、主催者か事前に申請し、町が審査し認められたものにポイントシールをお渡しします。

## 応募期間

平成24年5月1日～  
 平成25年1月31日  
 (消印は、1月31日有効)



抽選日  
 平成25年2月町民大会

お問い合わせ先  
 健康増進課健康増進係  
 (内線2143・2144)

## 健康増進課からのお知らせ②

特定健診を受診されましたか?



町全体受診率45.6%  
 (平成24年8月27日現在)

町では、国民健康保険の被保険者で40歳から74歳までの方を対象とした、特定健康診査を5月から実施しています。

8月27日までに集団健診または、医療機関などで2179人が受診されていますが、受診率目標の65%には達していません。

まだ、受診をされていない方は、11月30日までに登録医療機関で受診してください。

地区毎の結果は、次のような状況です。

宮之城地区	33.7%	虎居区	48.7%
屋敷地区	52.9%	船木区	43.7%
時吉区	51.0%	平川区	47.3%
柞野区	42.3%	佐志区	50.3%
湯田区	46.4%	久富木区	70.4%
山崎区	55.2%	白富川区	52.3%
二渡区	55.0%	鶴田区	43.2%
泊野区	44.6%	柏原区	42.6%
神子区	52.5%	求名区	43.9%
紫尾区	53.9%	永野区	48.4%
中津川区	53.9%		

まだ受診されていない方は  
 次の方法で受診できます。

- ◎登録医療機関での個別健診  
 登録医療機関で、平成24年11月30日まで、受診できます。登録医療機関は、健康増進課までお問い合わせください。
- ◎人間ドック  
 町の助成を受けないで人間ドックを受けている人は、結果票の写しを健康増進課に提出してください。
- ◎かかりつけ医からの情報提供  
 かかりつけ医で治療のために定期的に検査を実施している場合、その検査結果を提供してもらうことができます。登録医療機関の場合は医療機関に、その他の場合は健康増進課へお問い合わせください。
- ◎職場での健診  
 勤務先の職場健診で特定健診の受診票を使用して受けられる事業所があります。職場にお尋ねください。

お問い合わせ先  
 健康増進課保険係  
 (内線2141)

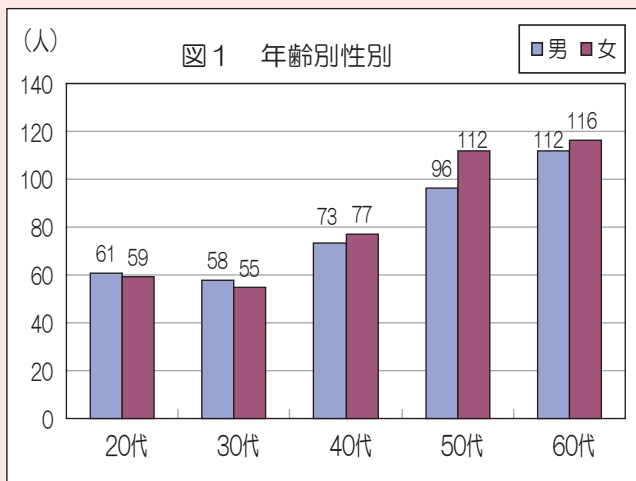
# 「健康さつま21」の改訂に向けて!



広報さつま8月号で、小学・中学・高校生の生活習慣等に関するアンケート結果の主なものをお知らせいたしました。今月号では、ご協力いただいた一般市民の調査結果をお知らせいたします。

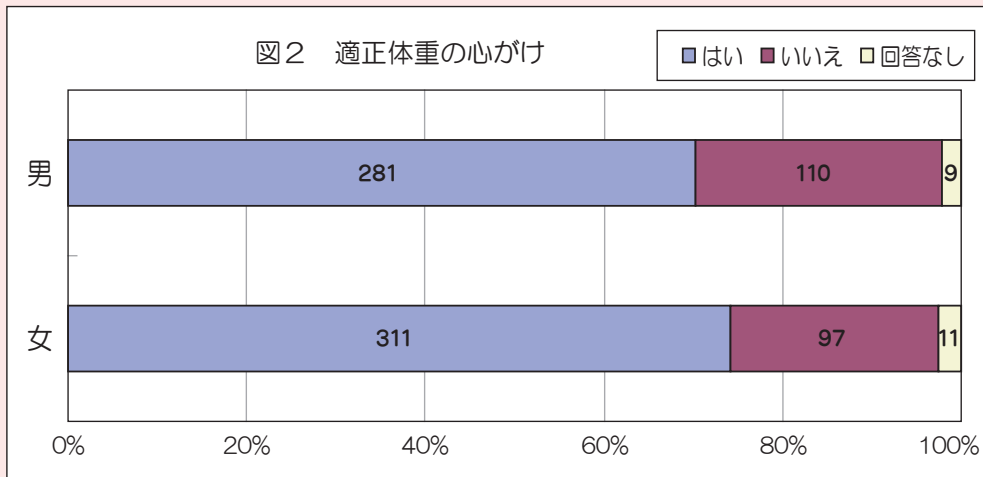
## ☆調査対象と回答者数

20歳から69歳までの町民の方の中から無作為に抽出した一千人の方に、各地区の健康づくり推進員のご協力を得て調査票を配布、左図のような819人の方に「ご回答をいただきました」。



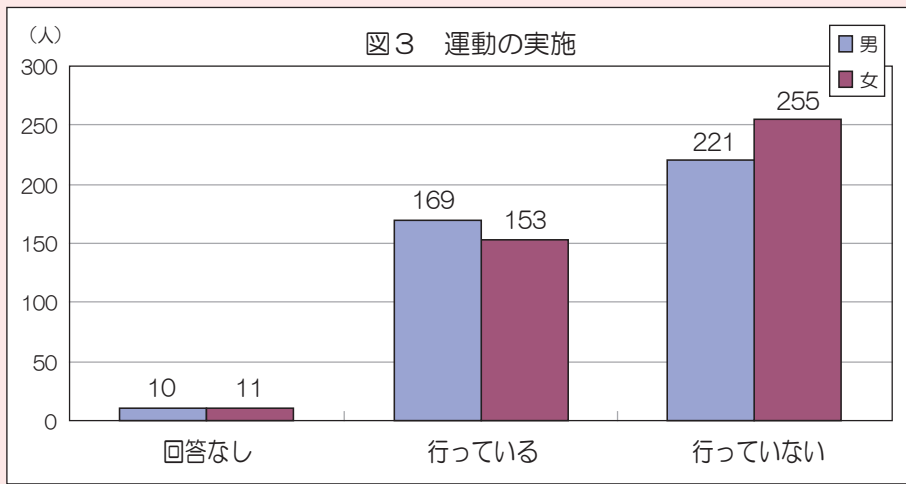
## ☆適正体重を心がけている人

適正体重を心がけている方は、男性が281人、女性が311人と男女ともも多く、6割を超えています。



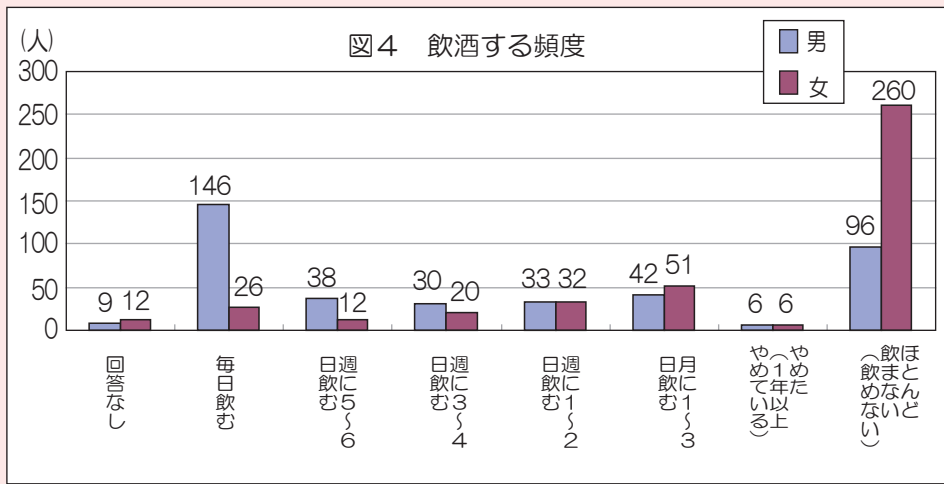
## ☆運動を実施している人

日頃から、日常生活の中で健康の維持・増進のために身体を動かすなどの運動を行っている方は、女性の方が多く、419人中169人と約4割という結果です。



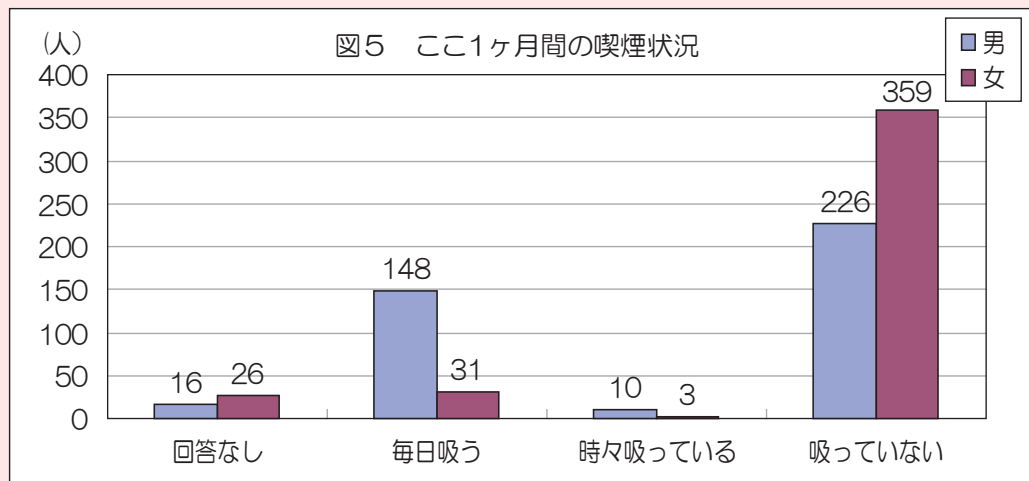
## ☆飲酒の頻度

一週間の飲酒の頻度は左図のとおりでした。男性は「毎日飲む」方が146人(36.5%)と最も多く、女性は「ほとんど飲まない」方が、260人(62.0%)と最も多くなっています。「毎日飲む」方への休肝日についてさらに周知を図ってまいります。



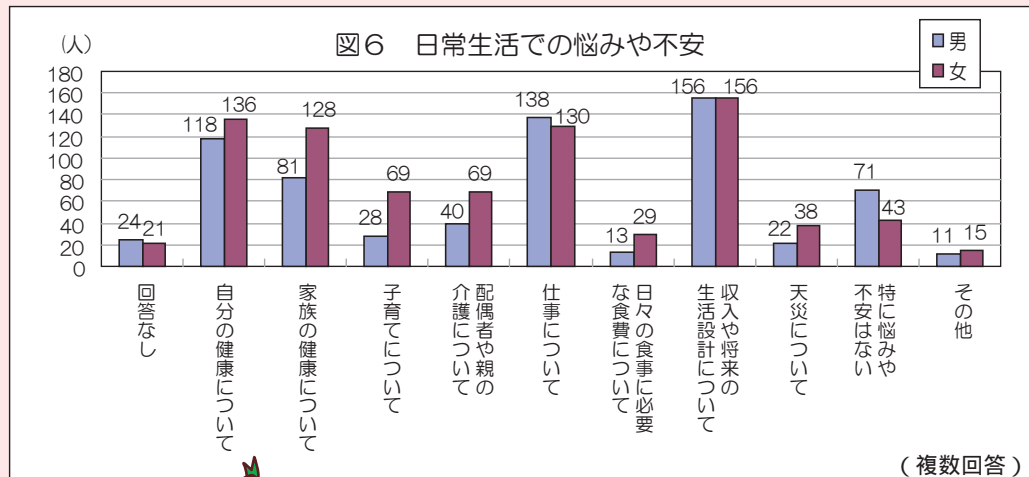
## ☆喫煙の状況

ここ1ヶ月の喫煙の状況の結果は、男性も女性も「吸っていない」方が最も多い状況ですが、男性は148人(37.0%)の方が「毎日吸う」状況であり、肺がんの死亡率が高いさつま町では、さらなる対策が必要です。



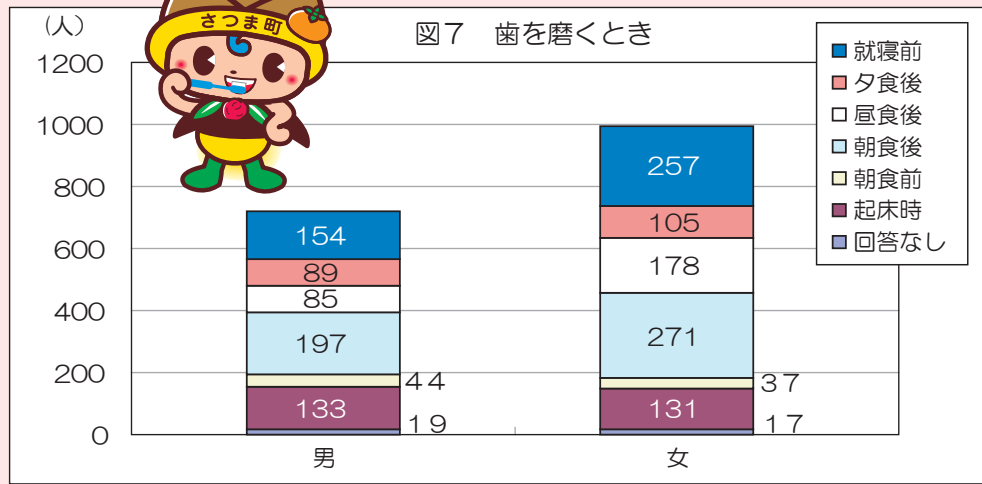
## ☆日常生活での悩みや不安の状況

日常生活における悩みや不安で最も多かったものは、男女とも「収入や将来の生活設計について」で、次いで、男性は「仕事について」、女性は「自分の健康について」という結果でした。



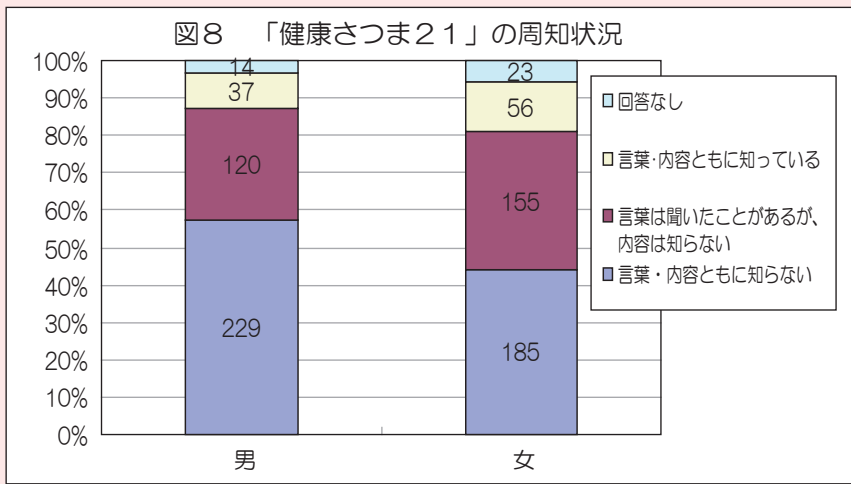
## ☆歯磨きの状況

一日の歯磨き回数は、男性が400人で721回(1.8回)、女性が419人で996回(2.4回)と、女性が男性を大きく上回っています。また、むし歯予防のためには、夜寝る前が効果的ですが、男女とも「朝食後」が最も多く、「就寝前」は二番目に多い結果でした。



## ☆「健康さつま21」周知状況

さつま町の健康づくり運動の指針として策定された「健康さつま21」について、約半数の方が「言葉・内容とも知らない」と回答されています。活用できる指針として本年度中の改訂を心がけます。



お問い合わせ先  
健康増進課健康増進係  
(内線 2143・2144)



# みんなが築く「安心と活力ある長寿社会」

9月17日は「敬老の日」です。また、9月15日は「老人の日」、15日～21日までの一週間は「老人週間」です。

□「敬老の日」は  
 多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。

□「老人の日」・「老人週間」は

①国民の間に老人の福祉への関心と理解を深める。  
 ②老人が自らの生活の向上に努める意欲を促す。  
 というそれぞれの目的で設けられています。

## ◆さつま町の高齢者の状況

本町は平成24年8月1日現在で高齢化率が34.6%で、町民の約3人に1人が高齢者であり、超高齢社会となっています。平成22年国勢調査による全国及び鹿児島県の高齢化率がそれぞれ23.0%及び27.0%となっていることから、本町の高齢化率は非常に高いと言えます。

9月は、各地で敬老行事が開催されますので高齢者の生活を家族のみならず、地域の方々も一体となって見守っていく必要があります。敬老の日、老人の日、老人週間を機会に、地域でも高齢者に対する声かけや見守り体制について話し合ってみましょう。

## ■さつま町の長寿者の状況

本町の100歳以上の長寿の方は、平成24年8月1日現在で男性4名、女性18名の合計22名です。また、24年度中に100歳到達される方は、男性2名、女性10名の合計12名です。

## さつま町文化財ボランティアの会 活動情報

7月31日、さつま町文化財ボランティアの会では、盈進小学校からの職員研修の講師依頼を受け、発足後、第1回目の文化財ガイドとして、会員の黒田敏隆さんが永野金山跡を案内し、6名の会員も同行しました。



案内役を務めた黒田敏隆さん（写真中央奥）永野金山・ふるさと薩摩の館を中心に案内いたします。

はじめに、ふるさと薩摩の館で、金山で実際に使われていた道具の説明をした後、現地に向かい、約2時間の「金山史跡コース」を歩きながら、金山に関するクイズを交えて、わかりやすく丁寧な説明を心がけました。参加した先生方からは、「永野金山の歴史について詳しく話を聞くことができた。」「これだけの歴史と史跡が残っているなら、もっと観光に活用できるのではないか」という感想・意見をいただきました。

発足したばかりで、まだまだ未熟ですが、町内に多数残されている文化財を、もっと多くの人に知ってもらうため、一生懸命案内いたしますので、学校の授業や、地域活動、研修等ぜひご活用ください。

お申し込みの際は、教育委員会文化課へご連絡ください。

お問い合わせ先  
 さつま町教育委員会 文化課  
 電話：53-1732

## 宮之城歴史資料センター企画展の案内

宮之城歴史資料センターでは、企画展を開催します。今回の展示では、鹿児島県立埋蔵文化財センターの協力を得て、実際に発掘された遺物を展示し、北薩の名城として知られる「虎居城」の当時の様子や生活に迫る内容を企画しています。虎居城の遺物を見る機会はなかなかないと思われるので、この機会に是非当館にお越しください。

また、展示に関して、学芸員や専門員による説明も行っていますので、受付の際にお申し付けください。

### 企画展名 虎居城展 乱世の城と暮らし

期 間 平成24年 9月15日（土）から  
 12月24日（月・祝）まで

場 所 宮之城歴史資料センター

時 間 9時～17時まで  
 （入館は16時30分まで）

入 館 料 高校生・一般 210円（105円）/人  
 小・中学生 100円（50円）/人

※小学生以下の未就学児は無料。  
 20人以上で団体割引料金を適用（）内の金額

休 館 日 月曜（国民の祝日または振替休日のときは翌日）

### 宮之城歴史資料センターへのアクセス



さつま町虎居 5228  
 電話（兼FAX）52-3340

## 長寿者紹介



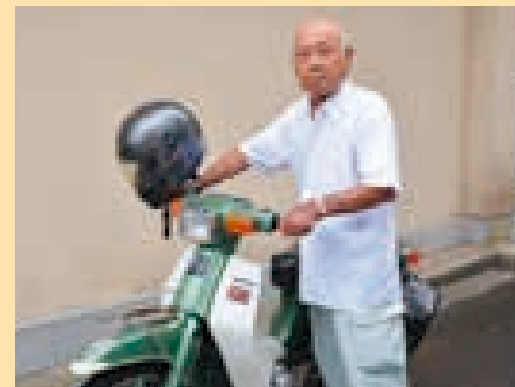
西別府 菊江さん（柏原）  
 大正2年生（99歳）

趣味の塗り絵を手にする西別府さん

西別府さんは、現在柏原に一人住まいで、朝食と昼食は自分で調理し、夕食はご家族の方と召し上がります。日中は庭の草むしりや、畑できゅうりや里芋などを作っていました。また、御先祖様の月命日には経を読んでいらっしゃるそうです。

長寿の秘訣を伺うと、「食べるものおいしい限りは自分で何でもする」と話されます。日頃の楽しみは、週1回のデイサービスでの塗り絵で、西別府さんの作品は、どれも色彩が豊かで、細かいところまで美しく描かれています。

野菜の手入れや趣味の塗り絵をされている西別府さんは、生き生きとされて笑顔がとても素敵でした。



平城 辰光さん（二渡）  
 大正9年生（92歳）

元気にバイクを運転する平城さん

平城さんは、現在も80ccのバイクを運転し、田畑の見回りや買い物もされています。また、草刈を定期的に行い、耕運機で畑を耕し、春には筍掘りもされるそうです。その他、南方神社の花の手入れなどもされており、地域のために日々頑張っているそうです。

長寿の秘訣を伺うと、「毎朝の体操と茶ぶし・みそ汁を飲むこと」と話されます。

日頃の楽しみは「テレビやラジオでプロ野球や相撲を応援すること」と笑顔で話されました。

バイクを運転される平城さんは、背筋が伸びとても凛々しく輝いていらっしゃいました。

### 高齢者の年代別内訳

年代区分	高齢者数（人）	人口割合（%）	男（人）	女（人）
65歳～69歳	1,362	5.6	662	700
70歳～79歳	3,460	14.5	1,465	1,995
80歳～89歳	2,852	11.9	927	1,925
90歳～99歳	595	2.5	134	461
100歳以上	22	0.1	4	18
合 計	8,291	34.6	3,192	5,099

8月1日現在の住民基本台帳人口による



中種子町と災害時  
応援協定を締結

8月6日、中種子町と大規模災害発生時の相互応援協定を締結しました。  
中種子町とは戦時中の学童疎開が縁となつて、平成18年7月に友好交流協定を締結し、青少年交流を中心に交流がなされてきました。  
また、記録的な集中豪雨で大きな被害に見舞われた平成18年の鹿児島県北部豪雨時には、中種子町から物資や義援金などの支援を受けています。今回の災害時相互応援協定により、大規模災害発生時には速やかな復旧・復興につなげるため、物的・人的支援など応援態勢を迅速に構築し対処していくこととなります。



左からさつま町の中尾議長・日高町長、中種子町の川下町長・鎌田議長



参加者全員での記念撮影

ちっぴんぐと  
体験熟夏の陣

中種子町青少年交流

8月6日から8日の3日間、中種子町青少年交流が実施されました。  
昨年は中種子町からさつま町への訪問活動でしたが、今年は、さつま町の青少年（小学生48名）が中種子町を訪問し、地引網や、シーカヤック、ウミガメ放流、種子島宇宙センター見学など体験・活動を通じて、中種子町の青少年（小中学生19名）と交流を深めました。  
子どもたちは、団体行動のあり方や、リーダーとしての自覚などを学ぶとともに、この出会いを今後の財産とし、これからも両町の交流の架け橋となっていくものと確信します。

図書室（館）へ行く  
お話の部屋  
スペシャル開催

お話の部屋スペシャルが7月28日、屋地楽習館で開催され、保育園児、発達障害児クラブの児童及びたくさんのお親子連れ等約120名の参加がありました。  
子どもたちに大型えほん、紙しばい等を通じて読書の楽しみを伝えることを目的に年4回3図書室（館）で開催しています。



えほんの読み聞かせ



オバケによるお見送り

こども図書館では、第1・第3土曜日に、屋地楽習館図書室では、第2・第4土曜日に午前10時30分からお話の部屋として、ビデオシアターや読み聞かせを開催していますので、是非覗いてみてください。

さつま町で強化合宿  
強豪チーム勢ぞろい

夏休みに入った7月中旬から8月末にかけて、小・中・高校生などによるスポーツ等合宿が町内各地で行われました。  
主なものは、高校ラグビー（九州、沖縄、四国から18校



練習試合の様子

優勝 神子分団

7月29日、鹿児島県消防協会薩摩支部消防操法大会が薩摩川内市川内川市民緑地公園で開催されました。

この大会は、消火活動に必要な技術および消防精神を養う目的で、隔年で開催されており、前回の平成22年度は口蹄疫の影響で開催中止となり、4年ぶりの大会となりました。

当日、選手たちは厳しい暑さをもとめず真剣な眼差しで、機械操作や放水を行いました。また、消防後援会や選手の家族なども見学に訪れて声援を送り、会場内は大いに盛り上がりました。  
競技は、消防ホースを延長



神子分団のポンプ車操法



優勝した神子分団の選手

して放水し、火に見立てた的を倒すまでの所要時間と土気規律、迅速で正確な動作、チームワークで審査され、ポンプ車の部で神子分団が見事優勝を果たしました。

【大会結果】

- 小型ポンプの部
  - 二渡分団 4位
  - 佐志分団 6位
  - 白男川分団 7位
- ポンプ車の部
  - 神子分団 優勝
  - 久富木分団 4位
  - 中津川分団 6位
  - 鶴田分団 7位

なお、優勝した神子分団は8月30日、鹿児島県消防学校において行われた県大会に薩摩支部の代表として出場しました。大会結果については来月号で掲載します。

「第8回関西がごしま  
ファンデー」  
観光大使を委嘱



さつま町のブースも大盛況でした

7月22日、関西鹿児島県人会総連合会（稲盛和夫会長）の主催で、「第8回関西がごしまファンデー」が京セラドーム大阪で開催され、約3万4千人が来場し、買い物や試食を楽しむ郷土に思いをはせていました。

今年、過去最高の230企業333ブースが並びました。  
さつま町からは、さつま町観光協会、「北さつま農業協同組合」、「Helloさつま」、「ソーシ工房エンジニアハウス」、「軸屋酒造株式会社」、「久富木区」が出店し、関西さつま会



委嘱状を手にする下原さん（右から3人目）

（市野英司会長）の協力をいただき、特産品の販売等を行いました。  
また、鹿児島県出身歌手によるステージや舞踊なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。  
なお、「関西がごしまファンデー」の会場で、さつま観光大使に、近畿鹿児島県人会連合会常任幹事の中原正美氏（中津川出身）を委嘱しました。  
さつま町の観光や特産品を広く全国に紹介していただくほか、夢と希望の持てるまちづくりの提言などをしていただくことを目的として、任期は3年としています。  
現在、さつま観光大使は10名になりました。

水の事故に  
気をつけよう  
水辺の安全教室in求名小



1・2年生によるライフジャケットを着用した水泳体験

7月17日、求名小学校で水辺の安全教室が開催されました。  
水の事故ゼロ運動は、自然体験の機会が少ない子どもたちに、水と遊ぶ楽しさと怖さの体験をおし、「海や川は危ないもの」と意識づけながら水の事故を未然に防ぐための自己防衛力を身に付けるものです。

水辺の安全に関する紙芝居や着衣泳、ペットボトルを使った救助法やライフジャケットを着用した水泳体験、また救命具を用いた救助方法など水の事故を防ぐ知識と技術を学びました。





ロープをつたって川を横断

**沢登り体験**  
7月28日、北薩広域公園とさつまグリーン・ツーリズム研究会共催による「沢登り体験」が行われ、町内外から18人が参加しました。泊野川と川内川の合流地点から二渡新田井堰までの約800mを川の中を歩き、川とふれあう体験で、インストラクターの指導のもと浅瀬を歩いたり、深い場所はロープをつたって、浮き輪で泳いだりと川を満喫しました。昼食では、自分たちで仕掛けた魚獲り用のワナで獲った川えびなどを天ぷらで堪能しました。参加した小学生は、「去年は寒かったけど、今年はいい天気で気持ち良かった。また、参加したい」と喜んでいました。



多くの方の協力できれいになりました

**「道の日」道路清掃作業を実施**  
8月10日の道の日に、町内各所の町道などで、清掃作業を実施しました。さつま町建友会会員の方々や議会議員、町職員など約200人が参加し、道路沿いの除草・伐採などの作業が行われ、通勤・通学等で利用する町道の見通しが良くなり、きれいになりました。

**夏の涼を求めて 北薩広域公園 ソーメン流し**  
7月29日、北薩広域公園で第11回ソーメン流しが開催されました。当日は、町内外より300名以上が訪れ、約100mの特製ソーメン流し台を囲み夏の涼を楽しみました。正午になると氷水と一緒にソーメンが流され、参加者は流れてくるソーメンを上手につかんでいました。自然の中で食べるソーメンは家庭で食べるのと一味違うようで、子どもたちは「おいしいね」といつても度も手を伸ばしていました。



冷たいソーメンは子どもたちに大人気でした

**第66回県民体育大会が開催されます**  
第66回県民体育大会が9月15日(土)・16日(日)の2日間、鹿児島市を中心に県下9市1町の各会場で開催されます。本町からも17競技に97名が川薩地区代表の選手・監督として出場する予定です。川薩地区内では、9月16日(日)に陸上競技が薩摩川内市総合運動公園陸上競技場で行われます。皆様の応援をお願いします。

**第66回県民体育大会 競技日程・会場 (さつま町からの選手出場関係分)**

競技種目	期日(9月)		会 場	所在地
	15日(土)	16日(日)		
陸上競技			薩摩川内市総合運動公園	薩摩川内市
カヌー			菱刈カヌー競技場	伊佐市
銃剣道			溝辺体育館	霧島市
バスケットボール			蒲生体育館ほか	始良市
クレー射撃			加治木クレー射撃場	始良市
ボート			大隅湖ボートコース	鹿屋市
剣 道			伊集院総合体育館	日置市
弓道(遠的)			東市来弓道場	日置市
弓道(近的)			鹿児島アリーナ弓道場	鹿児島市
空手道			鴨池公民館体育館	鹿児島市
少林寺拳法			県総合体育センター	鹿児島市
卓 球			松元平野岡体育館	鹿児島市
軟式野球			県立鴨池・鴨池市民球場	鹿児島市
バレーボール			鹿児島アリーナ	鹿児島市
バドミントン			桜島総合体育館	鹿児島市
ラグビー			ふれあいスポーツランド	鹿児島市
ゴルフ	9月14日(金)		南国カンツリークラブ	鹿児島市
水 泳			鴨池公園水泳プール	鹿児島市

お問い合わせ先  
社会教育課 スポーツ振興係 電話：52-1888

**参道の整備作業を実施 「宗功寺公園」**  
8月8日、さつま町観光協会では、宗功寺公園から歴史資料センターへ降りて行く参道周辺の整備作業を行いました。公園周辺は、以前から大雨になると公園の雨水が参道の土砂を洗い流し大変歩きにくい状態になっており今回、役員を中心に砕石等で参道の窪んだ箇所を補修したり参道横に土嚢を積み雨水が流れないようにしました。



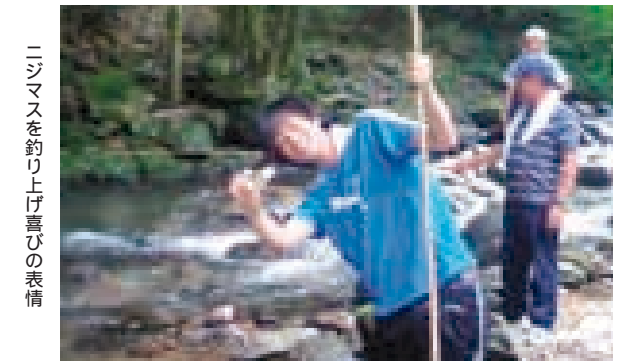
階段の補修をする観光協会会員

宗功寺公園は、宮之城島津家累代の墓が33基残り、県の指定文化財となっており、さつま町の観光スポットでもあります。



夏まつりの手踊りに参加

**久富木びんこ村一宿一飯**  
8月4日から5日まで、久富木びんこ村では、第18回目となる一宿一飯(久富木区主催、さつまグリーン・ツーリズム研究会共催)の受入を行いました。今回は、久富木区にゆかりのある県内外の久富木さん7人、鹿児島大学生5人、JR九州バスの社員9人(福岡本社3人、鹿児島支社6人)の合計21人の参加がありました。参加者は、久富木城址の清掃、竹細工体験、温泉入浴のあと、久富木区公民館でさつまナンゴなど交流を楽しみ、7人の方が、町内の農家民宿



ニジマスを釣り上げ喜びの表情

に宿泊しました。翌日は、JR九州バス福岡支社の方も合流し、永野地区でニジマス釣りが行われ、特に鹿児島大学生の皆さんは溪流での釣りに大満足の様子でした。その後、ニジマス料理を堪能し、永野金山散策、ガラス工芸館なども見学しました。また、JR九州バスの皆さんは、今年から後援をされた「さつま町夏まつり」の手踊りに、久富木区の皆さんと一緒に参加し、精一杯の手踊りで夏まつりを盛り上げていただきました。

**恒例 永野金山夏祭り!**  
お盆前の8月12日、公民会単位で昔から続く、「永野金山夏祭り」が開催されました。金山公民会は、さつま町の東の玄関口で、近代産業遺跡がたくさん残り、高齢化率65%の、昔は金山で栄えた地域です。金山夏祭りは、金山分校の時代から続く歴史のある夏祭り、当日は、地元の方や帰省客で大変賑わい、踊りや五



子どもたちによる五ツ太鼓の演奏

ツ太鼓、抽選や花火大会で盛り上がりました。

**危険箇所について再認識**  
8月6日、山崎小学校で「地域の安全安心マップの作成事業」が開催されました。これは、高齢者や野外活動者の指導のもとで交流体験することにより、「高齢者をいたわる心」や「ノーマライゼーションの心」を育んでもらうことを目的に、NPO法人さわやか出水女性の集いが実施しています。当日は、小学生や地区の方など計26人が参加し、午前中は危険箇所のチェックを行い、午後からは撮影した写真をもとに班ごとにマップを作成し危険箇所について発表しました。作成したマップは、印刷後、山崎校区の住民に配布されます。



危険箇所について地図を使って発表

## 第7回 町小学校水泳記録会

7月24日、宮之城屋内温泉プールで第7回小学校水泳記録会が開催され、町内14小学校から5・6年生約220名の選手が出場しました。選手たちは、日頃からの練習の成果を十分に発揮し、9種目で大会新記録が樹立されました。



大会競技25種目の1位の記録は次の通りです。

※大会新記録

種目	氏名(敬称略)	学校名	タイム
5年 男子 50m自由形	原之菌 大輝	佐志	42秒0
5年 女子 50m自由形	中山 きらり	佐志	41秒7
5年 男子 50m平泳ぎ	中島 太陽	山崎	55秒7
5年 女子 50m平泳ぎ	中山 きらり	佐志	55秒3
5年 男子 50m背泳ぎ	栗牧 雅樂	鶴田	48秒2
5年 女子 50m背泳ぎ	高木 優歌	佐志	1分03秒9
5年 男子 50mバタフライ	柳田 新太郎	盈進	54秒5
5年 女子 50mバタフライ	右田 詩織	永野	1分05秒1
6年 男子 50m自由形	西 貴哉	紫尾	34秒9
6年 女子 50m自由形	楠八重 友巳	泊野	37秒8
6年 男子 50m平泳ぎ	小久保 大輝	紫尾	52秒7
6年 女子 50m平泳ぎ	左近允 杏奈	佐志	57秒0
6年 男子 50m背泳ぎ	齋藤 将輝	佐志	48秒8
6年 女子 50m背泳ぎ	飛松 はづき	永野	46秒5
6年 男子 50mバタフライ	西 貴哉	紫尾	42秒0
6年 女子 50mバタフライ	右田 麗旺	永野	46秒3
6年 男子 100m自由形	久留須 壱彦	柏原	1分27秒5
6年 女子 100m自由形	飛松 はづき	永野	1分25秒6
6年 男子 100m平泳ぎ	前之園 健斗	佐志	1分40秒5
6年 女子 100m平泳ぎ	右田 麗旺	永野	1分52秒6
5・6年 女子 200m個人メドレー	楠八重 友巳	泊野	3分41秒8
5・6年 男子 200mメドレーリレー	齋藤将輝、前之園健斗、東怜生、福田晃久	佐志	3分02秒2
5・6年 女子 200mメドレーリレー	飛松はづき、上友香、右田麗旺、熊田妃夏	永野	3分19秒2
5・6年 男子 200mフリーリレー	久留須壱彦、上川畑海、下久保琢穂、佐藤雷喜	柏原	2分40秒7
5・6年 女子 200mフリーリレー	白石愛沙、甫立愛歩、大井桃、黒岩祐花	盈進	3分00秒8

少しでも復旧・復興の力になれば  
柱時計を贈呈

東日本大震災で自身の診療所を津波で流され、大きな被害を受けながらも、岩手県野田村で診療を続けている本町出身(鶴田地区)の医師を応援する「押川公裕医師を勝手に励ます会」のメンバーら6名が、7月20日、野田村公設民営診療所の待合所にかける記念柱時計の贈呈と応援終了あいさつのため、「おしかわ内科クリニック仮設診療所」野田村役場を訪問しました。励ます会ではこれまで、夏布団一式200組、米、生活用品、押川家の電化製品一式、移転費用等を支援してきました。

今回、野田村を訪問されたメンバーは、「ガレキはまだ残っていたが大分復旧復興した」と感じられたそうです。なお、8月6日には、再建した施設が完成し、診療を開始されています。



左から宇都さん、野田村役場総務係松頭さん、押川医師、大野さん、栗野さん、下大迫さん、真ん中は贈呈した柱時計

ぶどうの収穫が始まる  
甘くておいしいね



7月24日、さつま町ブドウ振興会(福岡喜一郎会長、会員9名)によるぶどう収穫祭が、新生団地の福岡観光農園

(広瀬)で開催されました。本町では、3.6haでブラックオリンピア・巨峰・ピオーネ等の品種が栽培され、今年は、40トンの販売を見込んでいます。

本年産は、長雨の影響から、収穫が一週間ほど遅れたものの、玉太り、着色、食味とも良好なぶどうに仕上がっています。収穫祭に招待された錦光保育園・恵光保育園の園児も甘くておいしそうなぶどうを手にして喜んでいました。

販売は、町内の観光農園、宅配のほか、各直売所で行っていますので、是非、お買い求めください。

【お問い合わせ先】  
さつま町観光農園協議会(事務局) さつま町役場農政課 農産園芸係  
電話(53) 1111  
(内線2424)

まちなか美術館が開館しました!!

町では、屋地本町事業協同組合・天神通り会の協力により、宮之城屋地商店街にある竹楽亭で、まちなか美術館を開館しました。

この美術館は、町内小学生を対象に、美術に対する認識を高めるために、身近な場所に児童の作品に触れる機会を提供することで、地域文化の向上を図ることを目的に開館し、また、商店街中心部に展示スペースを設けることで、商店街の活性化を図ろうとするものです。

8月までは、町内全小学校6年生の絵画や書道・硬筆等を展示していましたが、9月3日からは、小学校5年生の作品を展示します。

買物等で商店街に足をお運びの際は、ぜひお立ち寄りいただき、ご鑑賞ください。



現在展示中の作品

お問い合わせ先  
さつま町教育委員会文化課  
電話：53-1111 内線2551・2552  
文化センター直通：53-1732  
メール：bu-bunka@satsuma-net.jp

【展示予定】  
・9月3日～9月30日 町内全小学校5年生  
・10月1日～10月31日 町内全小学校4年生  
・11月1日～11月30日 町内全小学校3年生  
・12月1日～12月28日 町内全小学校2年生  
・平成25年1月4日～2月1日 町内全小学校1年生



# 川内川激特・鶴田ダム再開発速報

さつま町内の「川内川激甚災害対策特別緊急事業」と「鶴田ダム再開発事業」の工事  
 施工箇所（平成24年8月9日現在）

## 【国土交通省関連工事】

- 激特事業関連工事
- 柏原地区
  - ・築堤護岸工事（2件）
- 鶴田ダム再開発事業関連工事
- 神子地区
  - ・施設改造工事
  - ・上流仮締切工事
  - ・制水ゲート工事（2件）

## 【県北薩地域振興局関連工事】

- 激特事業関連工事
- 山崎地区
  - ・築堤護岸工事（1件）
  - ・山崎橋工事（2件：取り付け道路、舗装）
- 虎居、宮之城屋地地区
  - ・宮都大橋工事（3件）
  - ・宮之城橋工事（3件：上部工、国道高上げ、護岸）

## 《今月の現場写真》 激特事業 柏原地区

場所：柏原小路下手地区

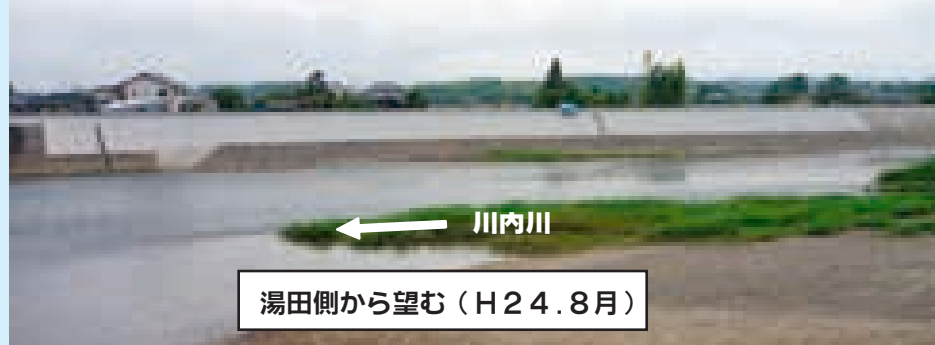
柏原の小路下手地区は、3月から築堤護岸工事（約200m）が進められ、梅雨前までに川側の護岸を施工し、その後宅地側の施工がされ、8月でほぼ完了しました。これにより住民の方々の洪水時の外水からの安全性がさらに向上しました。



施工前（H22.12月撮影）



施工後（H24.8月）



湯田側から望む（H24.8月）

## 鶴田ダム再開発情報館開設！！

これから、国内最大級の鶴田ダム再開発事業の工事も本格化してきます。鶴田ダムの堤頂右岸側建物の1階部分に鶴田ダム再開発情報館が開設されました。鶴田ダム再開発事業の内容説明、ダム建設当時の写真、ダムの概要など分かりやすくパネルで展示してあります。是非足を運んでみてください。（開館時間：平日の午前9時～午後5時）



### ■お問い合わせ先■

国土交通省 川内川河川事務所 TEL (0996) 22-3271  
 激特事業に関すること 工務課  
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課  
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所  
 TEL (0996) 53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部  
 土木建築課 道路建設第2係  
 TEL (0996) 25-5289

# さつまの ポテンシャルを引き出せ！

## なし

### ◆さつま町のなし

県内では霧島市について2番目に大きい産地で、さつま町ナシ振興会（会長 児玉 菊次さん）16名で約8haが栽培されています。収穫は7月下旬から早生品種の愛甘水（あいかんすい）から始まり、お盆頃より主力品種の幸水（こうすい）、豊水（ほうすい）、10月からはジャンボナシで有名な新高（にいたか）の販売と続きます。

販売は、直接販売が中心で時期になると主要道路沿いに出店しています。「あきづき」や「なつしずく」、「愛宕」、「新雪」など市場ではあまり見られない品種の販売もしていますので是非、お問い合わせください。

### ◆町内の代表的な品種

幸水（こうすい） 早生品種で生産量が最も多い品種である。酸味は少なく糖度が高い。果肉は柔らかく果汁も多い。日持ちが悪い。

豊水（ほうすい） 幸水について全国で2番目に生産量の多い品種である。糖度が高いが、ほどよい

く酸味もある濃厚な味が特徴。幸水よりやや大きめで、果汁が多い。また、日持ちは幸水よりは長い。

新高（にいたか） 晩生品種で果実が500g、1kg程度と大玉になる品種で、果汁が多く、歯ごたえのある食感で、味は酸味が少なく甘い。日持ちが良い。

### ◆なしに含まれるタンパク質分解酵素

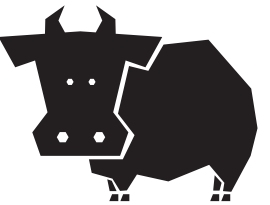
なしには、タンパク質分解酵素が多く含まれており、硬い肉が酵素の力で分解し柔らかい肉になることから肉料理には最適で、昔から中華料理や韓国料理に多く使われています。また、タンパク質の分解を良くして消化吸収を高める働きがあります。ただし、高温で酵素の働きが低下するため調理時には注意が必要です。



お問い合わせ先  
 農政課 農産園芸係  
 電話(53) 1111 (内線2424)

8月子牛せり市結果 期日：8月6日(月)～7日(火)（消費税抜き、売却分）（単位：頭・円・kg）

性別	頭数	総売上高	最高価格	平均価格	平均体重	前回比（対7月分）
めす	280	127,028,000	1,034,000	453,671	275	1,757円高値
去勢	362	155,056,000	664,000	428,331	295	17,672円安値
合計	642	282,084,000	1,034,000	439,383	287	9,387円安値



## 「10月1日から31日」までは、 行政書士制度広報月間です。

### 行政書士とは？

官公署（各省庁、都道府県庁、市・区役所、町・村役場、警察署等）に提出する書類の作成、同内容の相談やこれらを官公署に提出する手続きについて代理することを業としています。その書類のほとんどは許可認可（許認可）等に関するもので、その数は1万種類を超えとも言われます。



行政書士

他の法律において制限されているものについては、業務を行うことはできません。

# かむ ことの大切さ

今回は、簡単にかむことの大切さについてお話ししてみたいと思います。

## 1 歯の数

人の歯は、一生において1回しか生え替わりません。一般的に歯が20本以上あれば、食事にほとんど制限なく、好きなものを楽しく、おいしく食べることができます。

また、少なくとも自分の歯が15本以上あれば、生涯において、多くの場合、上下のかみ合わせの関係を安定的に保つことが出来ます。さらに、入れ歯やブリッジ、インプラントなどにより、機能する歯の数を20本以上にすると、比較的容易に歯と口の機能維持を図ることができます。(図1、図2)

## 2 嚙ミング30

嚙ミング30(カミングサンマル)とは、一口30回以上かんで食べることを目標とする取り組みです。よくかむと、脳内ヒスタミンが上昇し、満腹中枢を刺激して満腹感を得られるので、食べ過ぎを防ぐことができます。

よくかむことで、炭水化物や糖質がゆっくり吸収され、食後血糖値の急激な上昇を抑えることにもなります。これにより、肥満予防、そして生活習慣病の予防につながり、糖尿病の予防や進展予防にも役立ちます。

また、よくかむことにより、口腔内にあるセンサーや咀嚼筋などからの刺激が脳内に伝わるだけでなく、顎が動くことで脳内の血流がアップし、脳の働きが活発になります。これらによって反射神経や記憶力、集中力などが高まります。結果、寝たきりや認知症の予防、改善にもつながります。

## 3 定期健診の重要性

高齢化社会を迎え、最近よく定期健診で来院される方たちから、おいしく食べることが一番の楽しみだという言葉をお聞きします。虫歯や歯周病から歯を守り、健康な食生活を維持していくためにも、ぜひ、かかりつけ歯科医を持ち、定期健診を受けられることをお勧めします。

図1 歯の数と食べられる物の関係

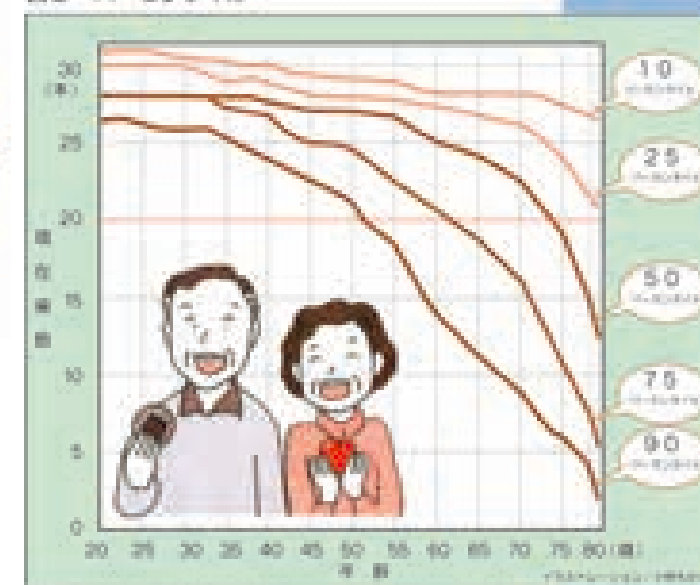


### グラフの見方

横軸が年齢、縦軸が現在の歯の数です。対象者の年齢と歯の数が交わる点に印をつけてください。例えば、55歳で歯の数が26本の人なら、交点は50パーセンタイル※の曲線と重なります。同じ50歳の年齢の人たちのなかでは、歯の残っている数が多い方から数えて、ちょうど50番目(真ん中)ぐらいであることが分かります。さらに、この曲線では、このままのペースで歯を失っていくと、80歳で歯の数が13本ぐらになってしまう可能性が高いことを示しています。

※パーセンタイル=ある集団100人のなかでの位置を表す単位

図2 パーセンタイル



文責 ふくおか歯科クリニック 福岡和正

## 健康さつま21 こんにちは保健師です

### こころの健康づくり ~支えあうこころといのち~

9月10日から16日の1週間は「自殺予防週間」です。

さつま町においても、こころや体の健康問題、経済、生活問題、家庭問題のほか人生観、価値観や地域、職場環境などさまざまな社会的要因が複雑に関係して、こころが追い詰められる人も少なくない現状です。そこで、良き理解者を地域に増やし、いつでも相談でき、助け合える人を地域に増やそうという思いから、今年度“こころの健康づくりサポーター”を27名養成しました。

“こころの健康づくりサポーター”は、こころの健康に関する基礎知識を知り、地域での理解者として身近な場所で相談活動等、今後活躍していただける方々です。

こころの健康づくりサポーターはあなたの地域でこんな活動を行います

- 1 地域の方々への声かけ
- 2 悩みや心配事をお持ちの方への話し相手、必要な場合は相談機関へのつなぎ  
工房たけん子への訪問、高齢者サロンへの参加、地域の一人暮らし者等への声かけなど
- 3 こころの健康づくりのお手伝い  
こころの健康に関する知識を普及、9月・3月の自殺予防週間での街頭キャンペーンの協力



### <私たちにできる自殺予防は>

あなたのまわりを見回してください。あなたの力で救えるいのちがあります。

- 気づき ..... 家族や仲間の変化に気づいて、声をかける
- 傾聴 ..... 本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける
- つなぎ ..... 早めに専門家に相談するように促す
- 見守り ..... 温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

お問い合わせ先  
健康増進課 健康増進係  
電話：53-1111  
(内線2143・2144)

## シリーズNo.4

# 健康な生活習慣紹介

増穂 由美さん 16歳 紫尾

### 「継続できていること」

1日3回10分以上毎日磨いています。  
私は、歯並びが悪いので、歯と歯が重なっている所を重点的に1本1本丁寧に磨いています。

きをしてもらい、それからは自分で磨いています。  
しかし、検診で歯を磨いた時、けっこう磨き残しがあったのを知り、これまで以上にしっかりと磨くようにしています。

### 「健康自慢に表彰されたこと」

私は、今まで1度も虫歯になつたことがありません。これからも虫歯にならないようにしています。



1本1本丁寧に磨きます

「健康づくりに励むきっかけは」  
小さい頃から親に「歯を大事にしなさい」と言われ、綺麗に磨いてきました。小学校に入学するときは、親に仕上げ磨



兄弟みんなで歯みがき中。みんな虫歯がありません。





この調査は、我が国の就業構造を全国だけでなく、地域別にも詳細に明らかにし、国や都道府県における雇用政策、経済政策などの各種行政施策立案の基礎資料を得ることや学術研究のために利用することを目的に5年に1度実施されます。

本年は実施年であり、調査にあたっては、平成22年に実施された国勢調査の調査区の中から、統計法により無作為に抽出した調査区(概ね公民会単位)において、9月上旬から9月中旬にかけて、調査区内の世帯の確認を行った後、無作為に抽出した世帯に対し、9月下旬から10月中旬にかけて調査員が調査票等の配布・回収をお伺いしますので、ご協力をお願いします。

なお、調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外で使用することはありません。

【お問い合わせ先】  
企画課 企画係  
電話: 53-1111 (内線2222)



## ご存知ですか? 消防団協力事業所表示制度

消防団は、地域防災の要として、地域の安全を守るために不可欠な組織です。しかし、近年、団員数は徐々に減少傾向にあり、また事業所等に勤務する方が約7割を占めているのが現状です。

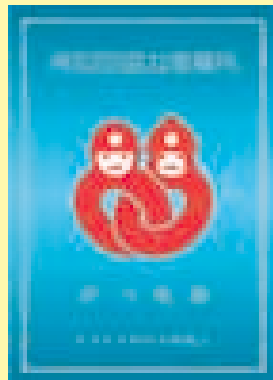
こうしたことから、町では、地域全体で消防団活動を盛り立てていただくことを目的に「消防団協力事業所表示制度」を平成21年から施行しています。

これは、消防団員を雇用し消防団の活動にいろいろな面から配慮いただいている事業所を「消防団協力事業所」として認定し、地域全体でその社会貢献を認め合おうというものです。

現在、さつま町内で20の事業所が認定されています。

また、このうちの2事業所は総務省消防庁からも協力事業所として認定を受けています。

消防団員の活動について、住民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



さつま町消防団

人KENまもるくん からのお願い  
人KENあゆみちゃん

自分を大切にしてください。  
一人で悩まないでください。

子どもの人権110番  
(無料) ぜろぜろなな ひゃくとうばん  
**0120-007-110**

お気軽にご相談ください。



鹿児島県方法務局

## 薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.12.16~)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	交代制
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡	堀之内 (第2・4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方	緒方		緒方	大学
整形外科	海江田	海江田	海江田	海江田	吉松 (原則 第2・4)	吉松 (原則 第2・4)
放射線科	林田	林田		林田	平木	

\*町民で50歳以上の方は、低線量CT肺がん検診を1,000円で受診できます。(要受診券)  
担当: 外川内 (TEL0996-53-0326)

石材の専門家  
墓石 納骨堂 石材彫刻

確かな信頼と永年の実績を誇る  
**鳥居石材店** 鳥居 通  
さつま町虎居町7-8 TEL0996(53)1189

## 健康増進課 健康増進係 健康診査日程 【9・10月分】

- 健康増進課 健康増進係  
内線2144
- 乳幼児健診・健康相談
- 1歳7~8か月児 (H23・1生) 健診  
9月19日(水)  
午後0時30分~午後1時  
受付(宮之城保健センター)
- 7~8か月児 (H24・1生) 育児相談  
9月21日(金)  
午前9時~午前9時30分  
受付(宮之城保健センター)
- 3歳児(H21・7生) 健診  
9月26日(水)  
午後0時30分~午後1時  
受付(宮之城保健センター)
- 2歳児(H22・9生) 健やか健康相談  
10月4日(木)  
午前9時~午前9時30分  
受付(宮之城保健センター)
- 2歳6ヶ月児 (H22・3生) 健診  
10月4日(木)  
午後0時30分~午後1時  
受付(宮之城保健センター)
- すくすく育児相談  
10月5日(金)  
午前9時~午前10時
- 4か月児 (H24・5生) 健診  
10月10日(水)  
午後0時30分~午後1時  
受付(宮之城保健センター)
- 母子健康手帳交付  
10月1日(月)  
午前9時30分~午前11時  
(宮之城保健センター)  
健康保険証・印鑑をお持ちください。
- フツ化物塗布  
9月19日(水)  
9月26日(水)  
10月4日(木)  
午後3時~午後4時  
受付(宮之城保健センター)
- 屋地楽習館健康相談  
10月2日(火)  
10月9日(火)  
10月16日(火)  
10月23日(火)  
10月30日(火)  
午前9時30分~午前11時  
(屋地楽習館)
- 「えほんの森」身長・体重測定  
10月12日(金)  
10月19日(金)  
10月26日(金)  
午前9時30分~午前11時  
(えほんの森)



## 乳がん健診 (完全予約制です)

- ・9月19日(水)  
(午前のみ実施)  
鶴田保健センター
- ・9月20日(木)  
薩摩農村環境改善センター
- ・9月21日(金)  
(午前のみ実施)  
薩摩農村環境改善センター
- ・9月22日(土)  
9月24日(月)  
宮之城保健センター

## 楽々健康ウォーク

- 体力づくりコース  
9月9日(日) 午前7時  
宮之城総合体育館出発
- ひがな花散策コース  
9月22日(土) 午前7時  
柘野区公民館出発

## 心配ごと相談所

- 福祉課 福祉障害係  
内線2135
- 毎週木曜日  
午前10時~正午  
宮之城ひまわり館  
お問い合わせ先  
町社会福祉協議会  
☎(52) 1123

## 総務課 秘書人事係 「障害者の皆様の雇用をお願いします!」

平成25年4月1日より障害者の法定雇用率が2.0%に引き上げられます。今回の法改正に伴い従業員50人以上の事業主は障害者を雇用する義務が生じます。障害者の皆さんがごく普通に日常生活を営み、地域の一員として社会参加していく共生社会を実現するため、事業主の皆さんのご協力をお願いします。

## 7月の火災・救急情報

火災	救急
発生件数 0件	出動件数 76件
	運んだ人 73人
	内 訳
	急病 47件 46人
	交通事故 2件 2人
	その他 27件 25人



## 災害復興対策課 まちづくり係 9月は「屋外広告物を知る月間」です

屋外広告物(看板・壁面広告等)は、良好な景観形成・風致の維持・公衆に対する危害を防止するために法律や条例により規制されています。看板や壁面広告などを表示する場合は、一部を除き事前に許可を受ける必要がありますので、許可基準について確認し許可を受けてください。広告物を表示する広告主さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



# 国民年金のお知らせ

## ◇付加年金をご存知ですか？

第1号被保険者・任意加入被保険者が定額保険料に付加保険料をプラスして納付すると、老齢基礎年金に付加年金が上乘せされます。  
付加保険料は、月額400円です。  
付加年金の受給額は、200円×付加保険料納付月数です。(年額)  
付加年金を2年間受給すると納付した付加保険料総額と同額となります。付加年金は、任意加入です。  
国民年金基金に加入中の方は、付加年金に加入することはできません。  
付加保険料は、納付期限を過ぎると納付できません。納付期限は翌月末日(休日・祝日の場合は翌営業日)です。

## ◇国民年金保険料の免除期間・納付猶予期間がある方へ

国民年金保険料の免除(全額免除・一部納付)・若年者納付猶予・学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めたときよりも老齢基礎年金の受け取り額が少なくなります。  
そこで、これらの期間の保険料は、将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、10年以内であれば、さかのぼって納める(追納する)ことができます。  
ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3年度目以降に追納されると、当時の保険料に一定の加算額が上乘せされます。

■お問い合わせ先 川内年金事務所 ☎22-5279

# 後納制度(国民年金保険料の納付期限の延長)が始まります

国民年金制度は、20歳から60歳に到達するまでの40年の間に国民年金保険料を納めていただくことで満額の老齢基礎年金を受給することができます。  
しかしながら、保険料を納められなかった期間がある場合や資格取得などの届出忘れにより国民年金の資格期間がない場合には、将来の年金が少なくなったり、年金そのものが受給できなくなってしまうこと(保険料納付や免除等の合計が25年(300月)未満の場合)があります。  
このような事態を避けるために、昨年、法律が改正され、平成24年10月1日から、国民年金保険料を納めることができる期間が過去2年から過去10年に延長となる後納制度が始まります。  
具体的には、平成14年10月分以降の納められなかった保険料を納めることができるようになります。(注)ただし、既に老齢基礎年金の受給権をお持ちの方は納めることができませんので、ご注意願います。  
なお、後納保険料を納付するためには事前にお申し込みいただき審査させていただきます。審査の結果、後納制度による納付をご利用いただけない場合があります。  
詳しくは、下記「国民年金保険料専用ダイヤル」または川内年金事務所(電話22-5276)へお問い合わせください。

(注)：後納保険料を納付できる期間は、平成24年10月1日から平成27年9月30日までの3年間です。海外に転出され、任意加入されなかった期間は対象になりません。

お問い合わせは『国民年金保険料専用ダイヤル』へ！



☎ 0570-011-050

050(一部)の電話、070の電話からおかけになる場合は 03-6731-2015

<受付時間> 月～金曜日 午前8:30～午後5:15  
ただし、月曜日(月曜日が休日の場合は火曜日)は午後7:00まで延長  
第2土曜日 午前9:30～午後4:00  
(祝日、12月29日～1月3日はご利用いただけません。)

※ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は全国どこからでも、市内通話料金でご利用いただけます。ただし、一般の固定電話以外(携帯電話等)からおかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。  
※「03-6731-2015」の電話番号におかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。  
※「0570」の最初の「0」を省略したり、市外局番をつけて間違い電話になっているケースが発生していますので、おかけ間違いにはご注意ください。

## よかところ再発見

### まちの歴史探訪③

## 北薩の名城「虎居城」

虎居城跡は、現在の宮之城中学校の付近から、川内川に向かつて、尾根上に突き出した一帯を範囲とする山城で、三方を川内川に囲まれた天然の要害です。  
この城は、平安時代に、大前(おおくま)氏によって築城されたと言われています。その防御性の高さや交通の利便性から、大前氏以降も、祁答院洪谷氏や島津歳久(金吾)など、祁答院地方を治める拠点として利用していました。

虎居城は、曲輪(くるわ)といわれるいくつかの平地を、大きな堀で分断しているという特徴があり、攻め寄せてき

た敵に対して、各曲輪が個々に戦う事が出来るようになっていました。このような構造を持つ山城は、南九州に多く、室町時代から戦国時代にかけて築城されました。  
川内川激甚災害対策特別緊急事業による推込分水路建設に伴い、平成20年度から21年度の2ケ年にわたり、虎居城跡の埋蔵文化財発掘調査が実施されました。土壘や堀などの防御施設のほか、輸入陶磁器や木製品の発見など、当時の城内の暮らしを知る上で、貴重な成果が得られました。  
出土した遺物は、現在、鹿児島県立埋蔵文化財センターで保管されています。



虎居城の発掘当時の様子

## 町長の動静 (平成24年7月)

※主な会議及び行事を抜粋  
(各課・局との内部会議は省略)

日	月	内容
7月2日	(月)	職員朝会
4日	(水)	北薩空港幹線道路整備促進期成会総会及び国道328号改良促進期成会総会
5日	(木)	県林業構造改善協議会総会(鹿児島市)
6日	(金)	3役調整会議 川内川改修促進期成会要望会(薩摩川内市)
8日	(日)	県水源地造林協議会役員会(鹿児島市) 町自衛隊父兄会総会
9日	(月)	消防協会薩摩支部操法大会事前披露会激励
10日	(火)	南九州西回り自動車道建設促進期成会総会ほか(出水市) 北薩森林管理署長との意見交換 県保健福祉部との意見交換 療育関係者との意見交換
11日	(水)	北さつま農協いちご部会生産販売会及び総会
12日	(木)	高校進路指導教諭と企業との意見交換会 法務局川内支局長来庁面談
13日	(金)	川内税務署長来庁面談 県国土調査推進協議会役員会・総会(鹿児島市) 北薩地域振興局農政部との意見交換 町介護保険運営協議会
15日	(日)	県治山林道協会来庁面談 観光協会役員との意見交換
16日	(月)	葬儀(鹿児島市)
17日	(火)	県農業信用基金協会総会(鹿児島市)
18日	(水)	神子区要望対応 人権擁護審議会及び人権啓発推進会議
19日	(木)	公立学校定員策定等に係る地区説明会(薩摩川内市) 国道267号整備促進期成会総会(伊佐市)
20日	(金)	児童サービスマス施設長との意見交換会 議会全員協議会 立地企業役員来庁面談
21日	(土)	経済文化交流会
22日	(日)	関西がこしまファンデー 関西さつま交流会(大阪市)
23日	(月)	北薩地域土木事業連絡会(薩摩川内市)
24日	(火)	議会報告会の結果報告会 県道路建設課との協議
25日	(水)	反核・平和の火りし受請行動・出発式 ぶどう収穫祭
26日	(木)	町たけのこ生産振興会総会 県観光連盟来庁面談
27日	(金)	まちなつくりフォーラム
28日	(土)	薩摩西郷梅生産組合総会 鶴宮園増改築竣工記念・夏祭り納涼大会
29日	(日)	県消防協会薩摩支部操法大会(薩摩川内市) 同ポンプ車の部優勝祝賀会
30日	(月)	シルバー人材センター要望受 福祉施設視察 南日本政経懇話会
31日	(火)	虎居区要望受 議会全員協議会 県土地改良連合会理事会(鹿児島市) マンゴー県域ブランド産地指定祝賀会

## 町長交際費執行状況 (7月分)

- 7月4日 3,124円  
交通安全広報車贈呈式時
- 7月6日 5,012円  
自衛隊父兄会総会時
- 7月11日 3,500円  
JA北さつまいちご部会生産販売反省検討会時
- 7月16日 25,750円  
供花及び香典(宮之城病院理事長 故新門宰氏)
- 7月22日 14,400円  
関西がこしまファンデー時観光PR用地元産品
- 7月31日 15,000円  
マンゴー県域ブランド産地指定祝賀会時

## 町長コメント

日高政勝

台風シーズンを迎えました。今年も第10号が接近し、予定の行事、会合全てが延期又は中止の事態になりました。最近の雨の降り方は、これまでとは大きく異なっており、時間雨量100ミリというとても多い量によって、被害も大きくなっています。一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう地震、津波、風水害など、いつどこで発生するかわからない状況です。

一旦、大規模災害が発生しますと、周辺の自治体も被災し、先ずは住民の人命救助、復旧、復興を最優先しなければならぬため、周辺の自治体からの応援は期待できない面があります。

東日本大震災後、自治体間の応援協定締結が急増しています。さつま町もこれまで友好交流を結んでいた青森県鶴田町と県内中種子町と大規模災害時の相互応援協定を結びました。遠く離れていることにより、同時に被災する可能性が小さくなり、被災していない町からの人的、物的支援がいち早くできるメリットがあります。

町民の安心・安全確保のため、現在、国、県、各団体等18組織と協定を結んでいます。



# がんばれ！スポーツ少年団

14

## 「心」「儀」「体」を磨く

佐志小水泳スポーツ少年団は現在1年生6人、2年生6人、3年生6人、4年生1人、5年生6人、6年生5人の計30人と指導者でがんばっています。佐志小水泳スポーツ少年団には水泳を通じて「心」「儀」「体」を磨く三訓があり、指導者の久保敬作さん(51)は、「水泳の技量だけでなく、ねばり強い精神力、体力を身につけてほしい」と話されます。昨年度よりOBの井手之上さんをコーチに迎え、それぞれの体力・技量を考慮しながら各個人に応じた指導を行っています。

## 自分の殻をやぶって

久保さんは「緊張して大会に出られなかった子どもたちが、一つの殻をやぶって大会に出場できるようになることが、指導者として嬉しいこと」と話されます。また、この経験が、将来子どもたちが中学、高校、大学、社会人として成長していく上で、何らかのプラスになってくれることを信じて指導されているそうです。今年の夏休みには教え子の宮之城中学校の生徒たちが指導にきてくれると



佐志小水泳スポーツ少年団



ビート板を使っのキック練習

「ベストタイムを目指して」

佐志小水泳スポーツ少年団の団長で佐志小学校6年生の東怜生くんは、3年生の時に入団しました。「練習がきつときにはとても辛けれど、たくさん練習をしてベストタイムができたときにはとても楽しい」と活動を振り返ります。今後の目標として、「たくさん練習をしてベストタイムを出すことと、キヤプテンとして団員をしつかりまとめることです」と話してくれました。

「水泳宮之城」と言われ、先輩方が築き上げた伝統の灯を消さないように今後とも指導を頑張りたい」と少年団への思いを話されました。

## 誕生おめでとう

7月16日〜8月15日届出分(15人) 敬称略

林 真海 男 多嘉夫 虎居町	山下 浩太郎 男 直浩 山崎上	小谷 南斗 男 啓太郎 船木東	栗 牧 あり 女 大輔 中間	中川 葉菜 女 達雄 西町	益崎 眞子 女 隆雄 豆漬	坂下 莉久斗 男 孝平 布田	市山 彩葉 女 大樹 湯之元	尾崎 夏帆 女 丈浩 平ブツン	原之園 愛理 女 博司 川原町	諏訪 希花 女 隆明 城之口	田中 杏佳 女 健太 町頭	吉永 杏 女 龍輔 袴野閣下	愛甲 悠陽 男 征矢 広橋	曾山 あやね 女 哲弘 湯田原
----------------	-----------------	-----------------	----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	----------------	---------------	----------------	---------------	-----------------

町社会福祉協議会へ  
紫尾区大衆浴場 上之原純夫  
・菊野 秋信

## おぐやみ申し上げます

7月16日〜8月15日届出分(17人) 敬称略

増田 博子 湯之元	黒鳥 ミツエ 黒鳥	原田 ウキ 白男川	大園 良子 紫尾下	今西 葵 一ツ木	徳田 昭和 湯之元	梶原 良二 さくら	宮之脇 ユミ 紫尾下	天瀬 均 下平川	山内 鐵夫 上狩宿	三角 勇 上川口	假屋 タミ 木洪	梅木 光広 京塚原	現王 園寅男 白男川	清水 清朋 須杭	三角 徹 田原	植村 宗光 大俣
-----------	-----------	-----------	-----------	----------	-----------	-----------	------------	----------	-----------	----------	----------	-----------	------------	----------	---------	----------

なぐなつた人 年齢 公民会

※「誕生・おぐやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

1歳で〜す  
毎月1番最初に  
生まれた赤ちゃん  
くりのふうか  
**栗野楓華**ちゃん  
平成23年9月4日生



上下大迫公民会  
父 惇 さん  
母 美佳 さん  
両親から一言  
元気で大きく  
育ってね!

くわはたはな  
**桑波田花**ちゃん  
平成23年9月4日生



愛宕公民会  
父 洋 靖 さん  
母 しおり さん  
両親から一言  
心に花の咲く方へ

## さつま町よかところファイル No.11



秋には黄金色に輝く寺元の棚田をお楽しみください。

### 永野「寺元の棚田」

永野区の東側に位置する寺元集落(新町公民会)には、かつて佐渡金山と並び称され一時は産出量日本一を誇った「永野金山」が栄えた江戸時代に開墾されたという歴史ある自然豊かな棚田があります。この由緒ある棚田を守る

る活動として、地元さつま町寺元棚田保存会では、おいしい棚田米と地元特産物の広報・宣伝活動に取り組んでいます。現在その一つとして、都市部と交流し田植えから稲刈りまでの米作りを体験できるイベント「寺元の棚田オーナー」制度を展開されています。味の評判はもろんのこと、昔懐かしい時間を楽しめる方や初めての農業体験に感動される方も多く、参加者からは大好評のようです。

もうすぐ稲穂の頭が垂れ、稲刈りの季節が到来します。日本情緒あふれる風景がお好きな方は、秋季限定の黄金色に輝く「寺元の棚田」を訪れ



てみてはいかがでしょうか？

また、この棚田は毎年2月に同区で開催される「さつま永野ウォーキング大会」のコースにおいても通過するポイントとなっています。こちらも是非ご参加のうえお楽しみいただければと思います。

財政課 工事検査室契約検査係  
宮田 善夫  
入札・契約検査に関する  
担当をしています。

あべ こはる  
**安部 小春 さん**

流水小学校 6年



**私の料理で笑顔にしたい**

私の夢は、料理人になることです。  
 私は、夕ご飯をよく作ります。それを食べた家族が「おいしいよ。」と笑顔で言ってくれます。私はその笑顔を見るのが大好きです。  
 将来、料理人になって、お店に来てくださったお客様を笑顔にしたいです。そして、お客様が帰られるときに「おいしかったよ。」と言ってもらえたらうれしいです。  
 そんな料理人をめざして、これからも家族のために料理を作っていきたいと思います。

**休日在宅医**

**9 月**

- 9日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326
- 16日 クオラリハビリテーション病院 ☎ 53-1704
- 17日 立志病院 ☎ 55-9119
- 22日 鬼丸整形外科 ☎ 56-8811
- 23日 相良医院 ☎ 53-0160
- 30日 さくらクリニック ☎ 53-1451

**10 月**

- 7日 益寄医院 ☎ 57-0010
- 8日 薩摩郡医師会病院 ☎ 53-0326

**休日薬局**

**9 月**

- 9日 青空薬局 ☎ 52-0101
- 16日 ウチ薬局 ☎ 53-0063
- 17日 フタヤ薬局 ☎ 59-2033
- 22日 みやんじょ薬局 ☎ 52-4650
- 23日 うさぎ薬局 ☎ 52-4116
- 30日 きりん薬局 ☎ 52-2033

**10 月**

- 7日 ぎんざ薬局求名店 ☎ 31-6500
- 8日 青空薬局 ☎ 52-0101

**わたしたちの町**

推計人口による

人口 23,484人 (- 8人)  
 男 10,871人 (- 5人)  
 女 12,613人 (- 3人)  
 世帯数 10,007世帯  
 転入 59人 転出 56人  
 出生 19人 死亡 30人  
 (平成24年8月1日現在)  
 ( )は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。